

事業所名

個別療育センターあおぞら姫路教室

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人(事業所)理念

法人理念：教育で社会貢献を。  
事業所理念：一人一人の心に寄りそいみんなの幸せを考える。みんなにとって安心安全な居場所作り。

支援方針

お家の方との面談を丁寧に行い、ニーズ把握をした上で一人一人の発達特性に合わせた支援プログラムを考え、個別、小グループ、集団の3つの形で療育を行っています。マンツーマンの個別療育の中で模範的な答えを出せても、他者と過ごす実際の場で出来なければ十分とは言えません。活動や余暇の中で他者と楽しく交流し、色々な刺激を受けることで自分もやってみようという意欲が湧き、他者とのコミュニケーション量も増え会話も弾みます。家と学校以外の安心できる自分の居場所を作り、発達段階に合わせた小さな積み重ねを通して、自分の好きな事や得意な事を見つけ自己肯定感や自信を培う支援をしています。のびのびと過ごす中で身に付けた力は生きて働く力となり、自立を助ける一生物の力になると信じています。無学年制の教材を使用した学習支援や不登校児の支援にも対応しています。

営業時間

学校のある日 10時00分から19時00分まで  
学校休業日 9時00分から18時00分まで

送迎実施の有無  あり  なし

## 支援内容

健康・生活

- ・挨拶、検温消毒、持ち物の整理、後片付けなど来所からの一連のルーティーンを身に付け、自立的な生活態度を育てています。
- ・プランターで野菜や花を育て、食についての理解や認識を高めるプログラムを行っています。また、実際の収穫物を用いて調理をし、新鮮な野菜の美味しさや、仲間と一緒に食べる楽しさを感じることでコミュニケーションや他者と共感する機会を増やし協調性や社会性を育てています。
- ・食事や衣類の着脱、排泄等、日常の基本的な生活スキルの獲得に加え、他者と生活する上で配慮すべきことをSSTや実際の療育の場で教えています。

運動・感覚

- ・個々の発達段階や特性に応じて、手指の巧緻性を高める活動を行い身辺自立や学習に必要なスキルの獲得を支援します。
- ・療育中の食事や学習時の姿勢の保持の他、活動前の全員でのラジオ体操、公園での遊具遊びの提供、小グループでの指先を使ったゲーム等、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を楽しむの中で十分活用できるよう支援しています。

認知・行動

- ・読む・書く・見る・推測する力の下支えとなる、眼球運動や視覚・知覚、音韻意識、記憶力を支援し集中力や注意力、課題を処理する力を高める支援をします。

これによって学習や日常生活における困難さを軽減し、出来ることを増やすことで自己肯定感や自信を育てていきます。一人一人のアセスメントや行動観察をもとに支援内容を選択します。

言語  
コミュニケーション

語彙や表現方法を増やし、自分の気持ちや意思を相手に伝え易くすることで、他者とのコミュニケーションがスムーズになり、癇癪を減らしたり問題解決していく力を育てています。他者と一緒に楽しく取り組める活動を小グループや集団で行い、経験値を高めながら他者と一緒に過ごす喜びを味わえる楽しい活動を工夫しています。その中で自然と自分から発せられる言葉が生まれるように和やかな雰囲気作りにも留意しています。

個別療育では、絵の内容を自分の言葉で他者に説明したり、まとまった文章の中から必要な情報を取り出し、聞かれたことに適切に答えられる力を培う支援をしています。療育室の本を毎月入れ替え、好きなジャンルの本を手にする事で本に親しみ、文字に対する接触量が増えることを期待しています。また、あおぞらの中の集会では人の前に出て発表し、他者に聞いてもらう機会を作ることで話すことに自信を持てるよう支援しています。

人間関係  
社会性

余暇の時間など他者との活動中、どんな力を育てたら円滑な人間関係が築けるのか一人一人の特性や傾向性を観察して支援計画に反映させています。個別療育でスタッフと1対1で対話しながら得た知識やモデルを他者との交流の中で実践できるように促していきます。他者とトラブルが起こった時や周りの行動に合わせられない時は、スタッフと一緒に行動を振り返る時間を持ち気づきを促すことで、行動修正に繋げる支援を行います。出来た時はたくさん褒め、良い行動を定着させ自信を付けられるよう支援します。挨拶をすること、片付けること、順番を守ること、人の話を聞く事など、集団の中で苦手な事がある場合は、特性が我儘かの見極めを行いつつどんな苦手や困りごとがあるから出来ないのか気持ちに寄り添いながら探っていきます。気づきを促し、行動を変えていくことで、穏やかな人間関係が得られることを体得できるよう支援していきます。

本人支援

<p>家族支援</p>	<p>モニタリング時以外にも送迎時の申し伝え等や来所での相談支援を通して、日々のお子様を取り巻く環境(きょうだいを含む)の情報をリアルタイムで共有しています。      そうして御家族と同じ目線で課題を把握し、お子様の療育に生かすよう努めています。      ご家族のお仕事や急用に対して、サービス提供時間の延長で対応しています。</p>	<p>移行支援</p>	<p>必要に応じて、御家族や関係機関等と連携し、支援についての情報共有や連絡調整、相談支援などを行いスムーズな移行に繋がられるようにしています。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>各種関係機関（学校・相談員・児童相談所）との連携を図ります。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修</li> <li>・外部研修会への参加</li> <li>・毎日のスタッフミーティングで利用者様の情報共有とそれに伴う療育内容の考察と療育後の振り返りを実施しています。</li> <li>・PDCAサイクルを基本として職員の質の向上を目指しています。</li> <li>・何でも相談できる風通しの良い職場環境作りを心がけています。</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<p>避難訓練、書き初め、パンやピザ作りなどのクッキング、外出活動（水族館、動物園、公園等）、図書館など公共機関利用、地域のお店での買い物支援、季節毎の野菜の植え付け      季節に因んだ創作活動や遊び(書き初め、節分、ひな祭り、夏祭り、ハロウィン、クリスマス)、実験（スライム作り等）。</p>		